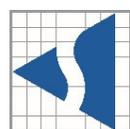


2022年6月期第2四半期 決算説明会資料

2022年2月10日



北川精機株式会社

<JASDAQ : 6327>

目次

1. 連結業績説明
2. 2022年6月期の見通し
3. 事業環境と今後の課題
4. 中期経営計画

目次

1. 連結業績説明

2. 2022年6月期の見通し

3. 事業環境と今後の課題

4. 中期経営計画

2022年6月期2Q 連結決算概要

- 工期短縮による売上計上の前倒しにより、売上高、利益の全項目で予想値を上回る
- 今期は3Q以降に売上が集中しているため、売上高、利益ともに前年同期を下回る

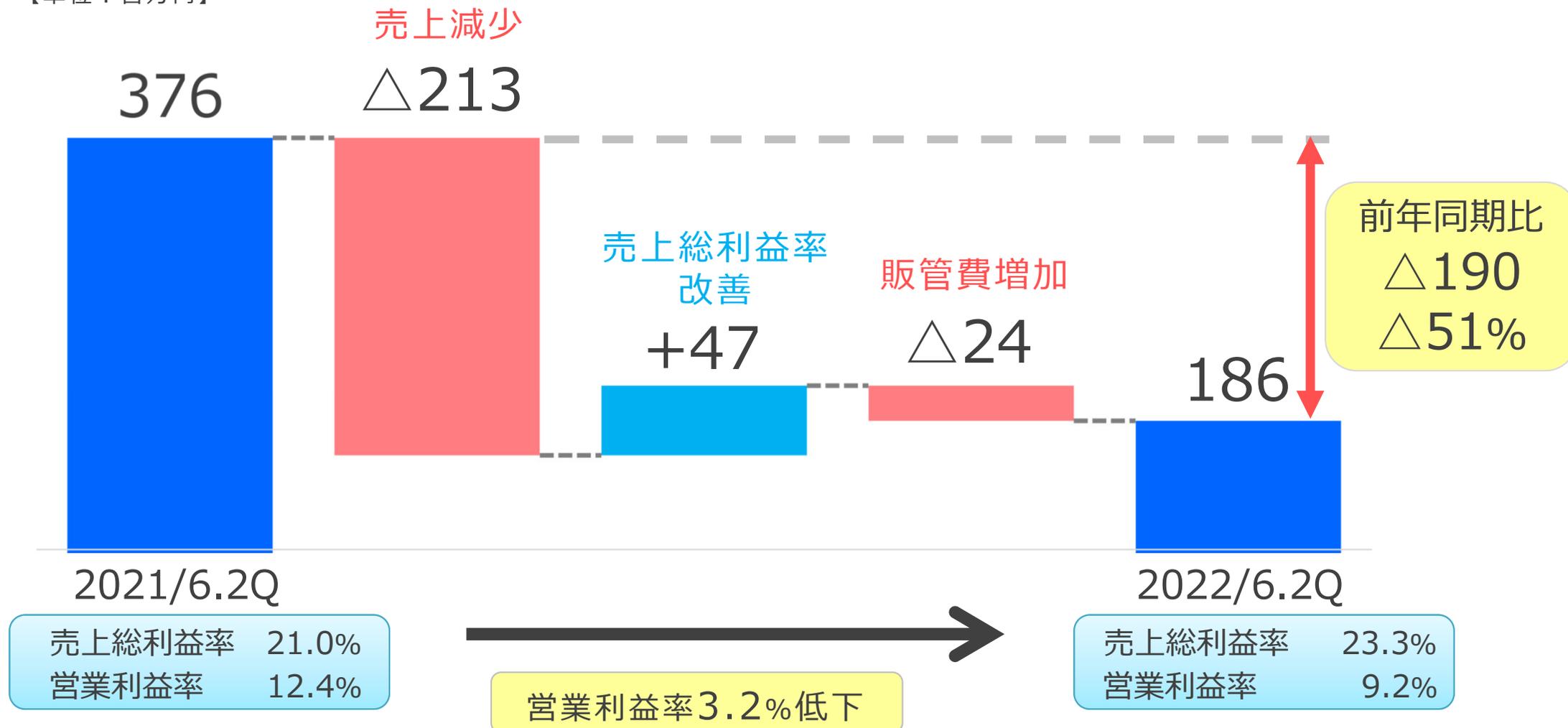
【単位：百万円】	2021/6 2Q	2022/6 2Q	前年同期比	2022/6.2Q 【業績予想値】※	
			増減額(率)	2022/1/17公表	達成率
売上高	3,051	2,034	△1,016 (△33%)	2,000	102%
営業利益	376	186	△190 (△51%)	180	103%
経常利益	362	174	△187 (△52%)	170	103%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	309	144	△164 (△53%)	140	104%
1株当たり 四半期純利益	41.90円	20.54円	△21.36円 (△51%)	19.84円	104%

※2022/1/17に上方修正を行っております

2022年6月期2Q 増減分析【営業利益】

- 原価低減と製造工程の見直しに努め売上総利益率は改善
- 研究開発費・広告宣伝費を主とした販管費増加により営業利益率は低下

【単位：百万円】



セグメント別実績【売上高・営業利益】

【単位：百万円】

	2021/6 2Q		2022/6 2Q		前年同期比 増減額(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
産業機械事業	2,970		1,942			
輸出比率	77.2%	365	73.3%	174	△1,027 (△34.6%)	△190 (△52.2%)
外貨建て比率	12.0%		40.0%			
その他の事業	80	11	91	13	+11 (+13.9%)	+2 (+16.7%)

各実績の売上高はセグメント調整後、営業利益はセグメント調整前

セグメント別実績【受注高・受注残高】

- 国内外における投資意欲は継続しており、特に海外向けCCL装置の好調な引合いを背景に産業機械事業の受注高・受注残高ともに過去最高額を更新

【単位：百万円】

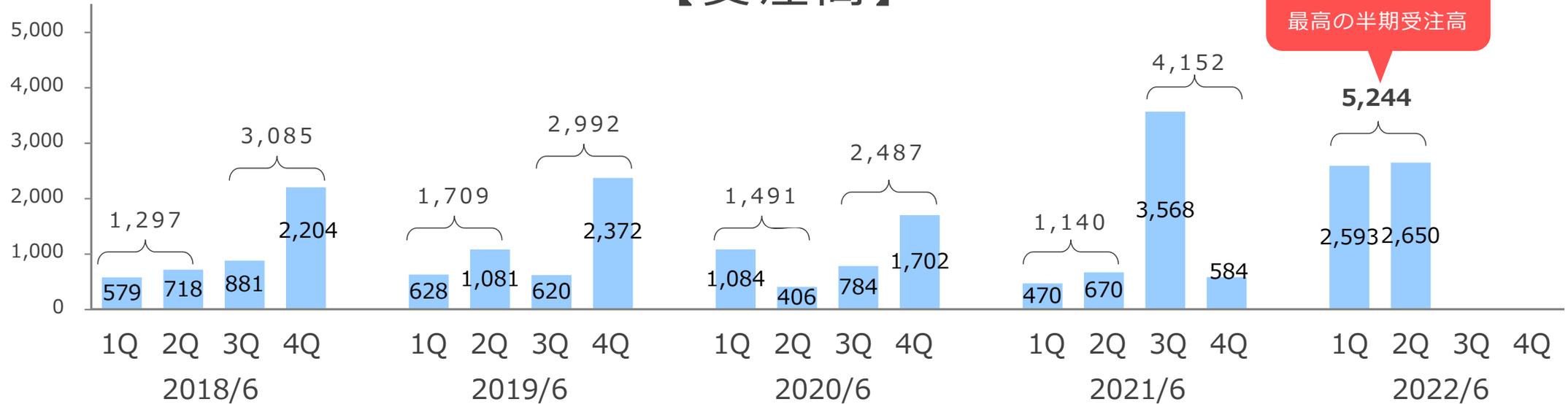
	2021/6 2Q		2022/6 2Q		前年同期比	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
産業機械事業	1,140	1,794	5,244 [※]	7,564 [※]		
輸出比率	45.1%	60.1%	49.9%	66.4%	459.8%	421.6%
外貨建て比率	2.6%	12.3%	11.4%	16.4%		
その他の事業	95	94	84	86	88.3%	91.6%
計	1,235	1,888	5,328	7,651	431.2%	405.1%

※翌期以降の売上予定分を含んでおります

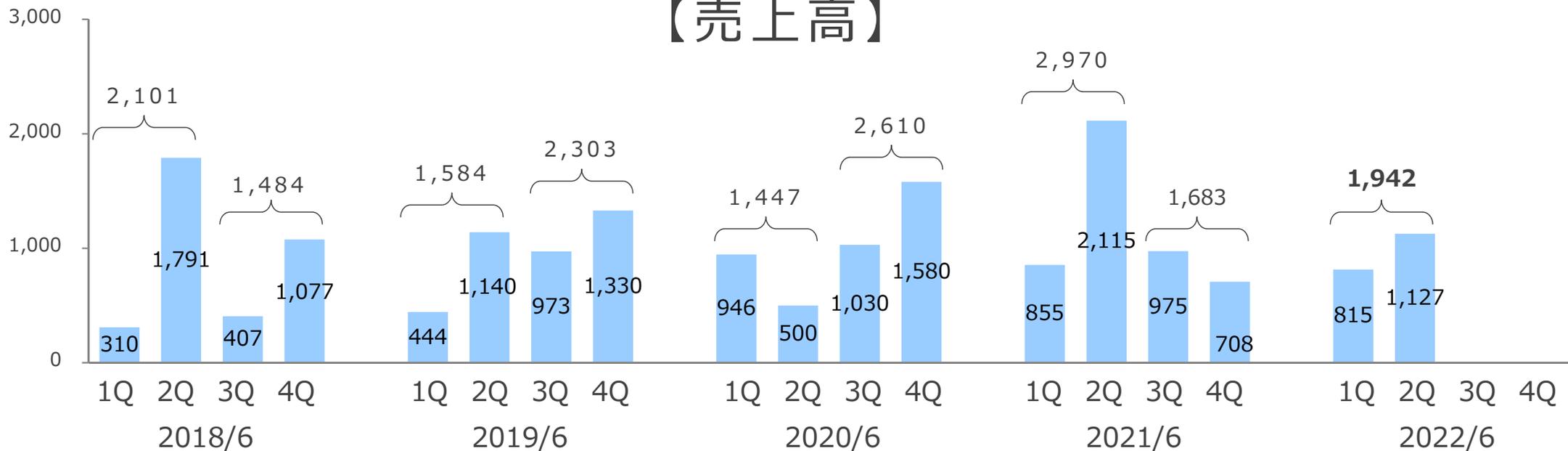
受注高及び売上高の推移【産業機械】

【単位：百万円】

【受注高】



【売上高】



連結貸借対照表の推移

【単位：百万円】

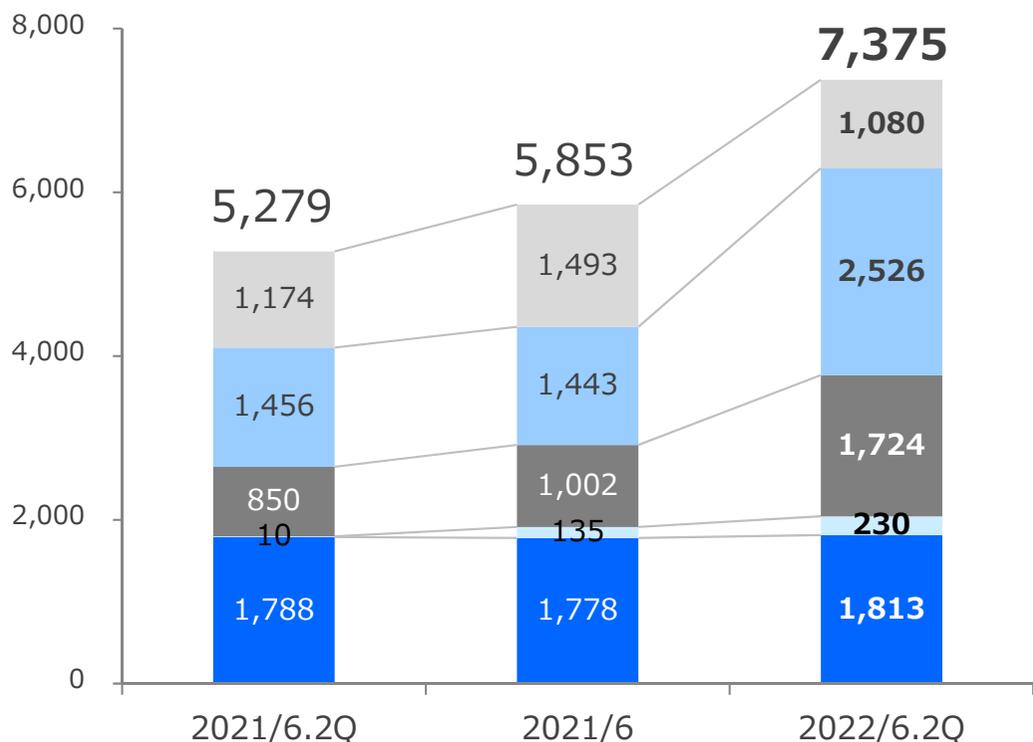
【資産】 +1,521

受取手形、売掛金及び契約資産 +1,082
仕掛品 +690
現預金 △412

【負債】 +1,392

契約負債(前受金) +909
電子記録債務 +445
支払手形及び買掛金 +167

■ 現預金 ■ 売上債権 ■ 製品/原材料/仕掛品 ■ その他流動資産 ■ 固定資産



【資産】

【純資産】 +128

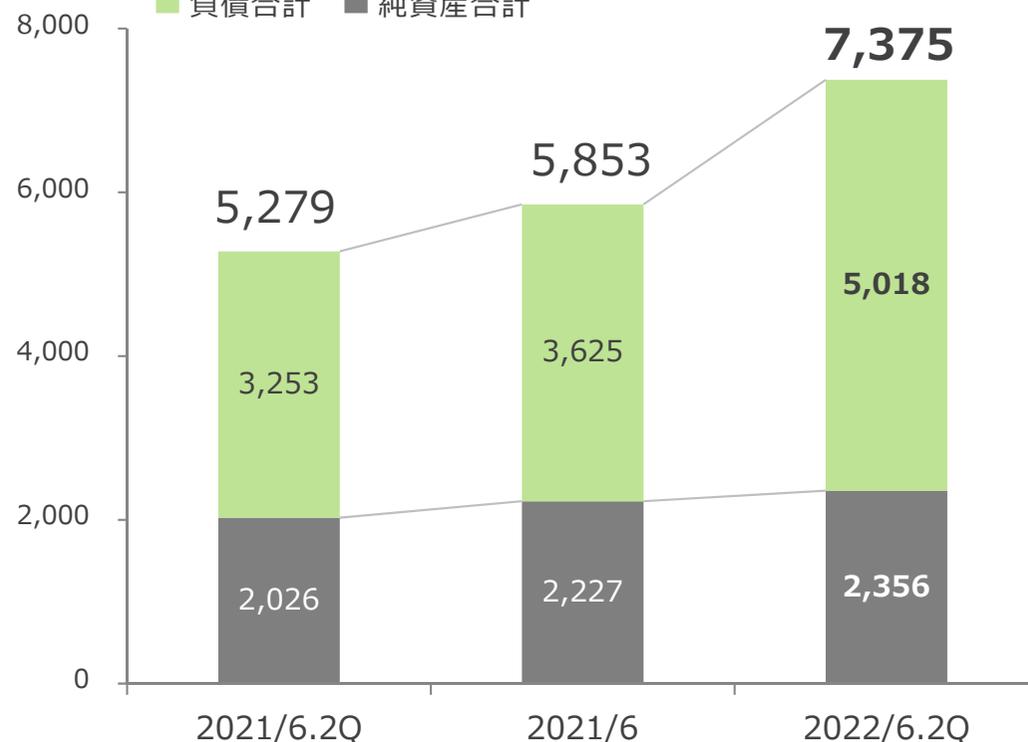
親会社株主に帰属する四半期純利益 +144
配当金支払 △35

【自己資本比率】

△6.1ポイント



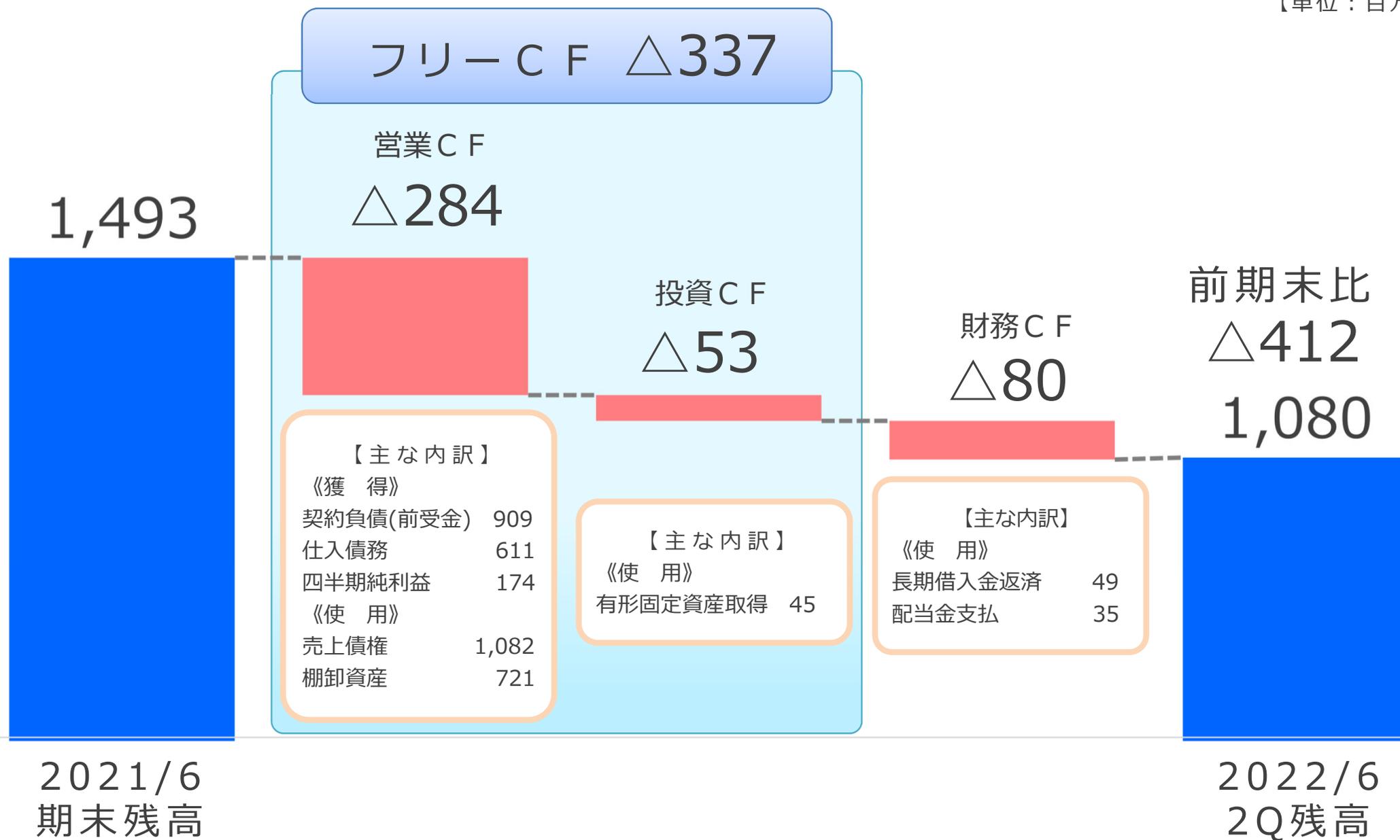
■ 負債合計 ■ 純資産合計



【負債・純資産】

連結キャッシュフローの増減分析

【単位：百万円】



目次

1. 連結業績説明

2. 2022年6月期の見通し

3. 事業環境と今後の課題

4. 中期経営計画

コロナ禍の影響に関して

- 本社及び各支店で感染防止対策の徹底を継続し、通常稼働の維持に努める

影 響

1. 海外渡航制限による商談の停滞
2. 海外工事で遅れが発生（売上への影響は軽微）
3. 調達部品（電気・樹脂部品）の長納期化
4. 海上運送費上昇、コンテナ不足

対 策

1. Web会議等で顧客と密に連絡を取り、案件の進捗遅れをカバー
2. PCR検査及び隔離措置に従い海外出張を再開、並行してWebカメラ等を使用した遠隔指導による海外工事を継続
3. 外注先や物流の状況を常に確認し、在庫積増しと調達方法を多様化
4. 先行予約や複数案件の一括依頼により輸送スペースを確保

2022年6月期 連結業績予想

- 堅調な引合いを背景に増収増益（当期純利益を除く）を予想
- 現状では期初計画に沿った進捗を見込むが、調達部品の長納期化や原材料・海上運賃の上昇などもあり今後の影響は不透明

【単位：百万円】

	2021/6 【実績】	2022/6 【予想】	前期比 増減額(率)
売上高	4,819	5,000	+180 (+4%)
営業利益	541	560	+18 (+4%)
経常利益	546	550	+3 (+1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	492	460	△32 (△7%)
1株当たり当期純利益	68.22円	65.20円	△3.02円(△4%)
1株当たり配当金	5円	5円	±0円
為替レート / 1ドル	107.00円	110.00円	期初想定レート
	106.13円	-	期中平均値(売上計上時)

2022年6月期 セグメント別業績予想

【売上高・営業利益】

【単位：百万円】

	2021/6 【実績】		2022/6 【予想】		前年比 増減額(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
産業機械事業	4,654	528	4,830	550	+175 (+4%)	+21 (+4%)
その他の事業	165	12	170	10	+4 (+3%)	△2 (△19%)

各実績の売上高はセグメント調整後、営業利益はセグメント調整前

目次

1. 連結業績説明

2. 2022年6月期の見通し

3. 事業環境と今後の課題

4. 中期経営計画

事業環境と市場の見通し

プリント 基板

※1

- ✓ CASEをキーワードに高機能化が進む自動車向けの車載基板や5G通信の本格化、IoT市場の広がりなどによる高周波基板、サーバー用基板が需要を押し上げている。

自動車

- ✓ カーボンニュートラル実現へ向け、各種電気自動車の開発・市場投入が加速する見込み。
- ✓ コロナ禍による工場稼働停止や半導体不足により販売台数減少。
- ✓ 軽量素材の採用や電子制御化など燃費向上が重要なテーマ。

※2 CFRTP

- ✓ 軽量・高強度部材へのニーズは高く、自動車関連をはじめ研究開発需要は依然旺盛も実用化・普及までは課題も多い。また性能面や生産工程の低コスト・省エネ化も要求されている。
- ✓ カーボンニュートラル実現へ向け、植物由来のバイオプラスチックを使用したCFRPや、麻などの天然植物繊維を強化材としたFRPの開発が急ピッチで進む。

※1 「接続性、自動運転、共有、電動化」の頭文字をとって合わせた造語

※2 炭素繊維強化熱可塑性プラスチック

今後の課題

営業

- ✓ 真空プレス・高温特殊プレス・成形プレス機の新市場開拓（CFRTP、エンブラ、セラミック、自動車用部品等）
- ✓ CFRP関連装置の受注拡大（試作案件への積極サポートと有効提案で実機導入へ導く）
- ✓ テスト機納入実績を活かした、量産機の確実な取込み
- ✓ 省人化設備の宣伝・拡販（導入事例を提示し提案）

技術

- ✓ 顧客ごとの仕様に合わせた全自動プレス生産一貫ラインの開発
- ✓ IoTを活用したサポートサービスの構築

製造

- ✓ 次世代高速通信向けCCL用高温真空プレス装置の短納期化
- ✓ 遠隔指導による海外据付工事の作業効率向上
- ✓ 調達先の分散・多様化
- ✓ 増産に向けた設備投資、協力工場の新規開拓

目次

1. 連結業績説明

2. 2022年6月期の見通し

3. 事業環境と今後の課題

4. 中期経営計画

持続的進化への挑戦

～社会と共に成長する強い **KITAGAWA**～

環境変化に合わせ収益機会を確実に獲得
将来に向け持続可能な成長基盤を堅固に

重点項目1

既存事業での技術的深化と
新規事業への経営資源集中に
よる持続的成長の岩盤造り

- ・ハイエンド基板向け高温・高精度
プレスの分野で**圧倒的な世界シェア**
を確保する。
- ・中長期的な視点で新たな**成長市場**
を開拓し、事業化の目処をつける。

重点項目2

市場拡大に合わせた生産能力
増強と収益性・競争力・製品/
サービス品質向上の両立

- ・効率的生産体制の構築により、収
益性と競争力を高めつつ**拡大需要**
を**確実に取り込む**。
- ・顧客視点で性能と品質を更に高め、
顧客満足度を向上させる。

重点項目3

活力溢れる強い組織作りと
それを支えるデジタル化の
推進

- ・技能継承と若手育成に注力し、創
造性・自主性と行動力をもって、
いかなる環境変化にも柔軟に対応
できる**強い企業風土を醸成**する。
- ・デジタル技術の活用によって業務
プロセスを変革し、より**効率的な**
組織を構築する。

中期経営計画(2022/6月期～2024/6月期)

持続的進化への挑戦 ～社会と共に成長する強い **KITAGAWA**～

	2021/6月期 実績	2022/6月期 予想	2024/6月期 計画	増減率
売上高	4,819 百万円	5,000 百万円	5,300 百万円	+10 %
営業利益	541 百万円	560 百万円	600 百万円	+11 %

<補足資料>

会社概要



社名	北川精機株式会社
英文社名	KITAGAWA SEIKI CO.,LTD
創業	1951年(昭和26年)7月
設立	1957年(昭和32年)1月14日
本社所在地	広島県府中市鵜飼町800番地の8
代表者	代表取締役社長 内田 雅敏
事業内容	プリント基板プレス装置、 新素材プレス装置、 ソーラーパネル成形用ラミネータ装置、 FA・搬送機械の製造及び販売
資本金	300百万円
主要子会社	ホクセイ工業株式会社 北川精機貿易(上海)有限公司
従業員数	連結151名 単体144名 《2021年12月末現在》

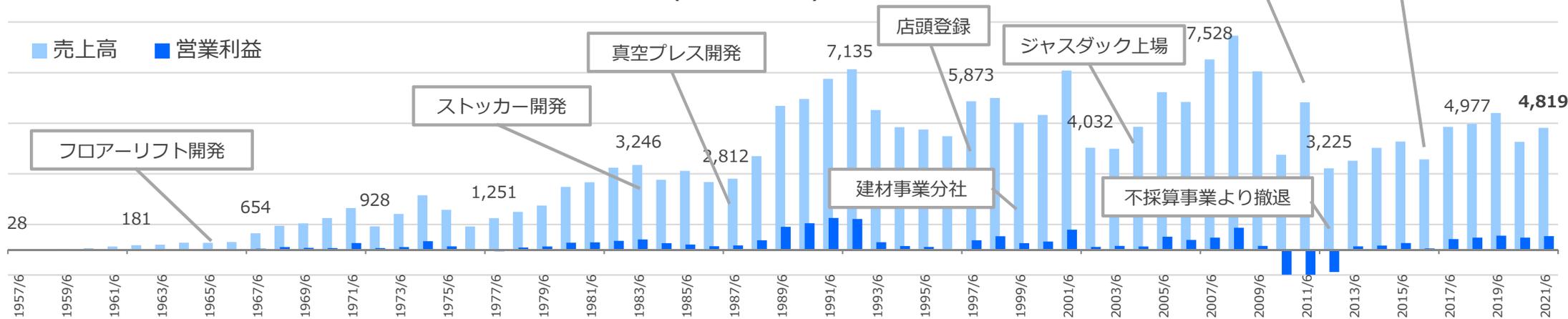
企業理念 「英知と創造」



沿革

- 1957年 「株式会社寿製作所」を設立
- 1958年 合板用ホットプレスを開発、製造・販売開始
- 1960年 商号を「北川精機株式会社」に変更
- 1966年 フロアーリフト、油圧エレベーター等を開発、製造・販売開始
- 1977年 ボード成形用プレス(2000t)装置を開発、製造・販売開始
- 1982年 多層プリント基板成形用プレス装置を開発、製造・販売開始
- 1983年 ソリッドストッカーを開発、製造・販売開始
- 1985年 プリント基板成形用真空プレス装置を開発、製造・販売開始
- 1987年 大型真空プレス(20段)装置を開発、製造・販売開始
- 1990年 複合材成形用高温プレス(最高温度600℃)装置を開発、製造・販売開始
- 1998年 日本証券業協会に店頭登録銘柄として登録
- 1999年 建材機械事業部門を分社、「キタガワエンジニアリング株式会社」設立
- 2004年 ジャスダック証券取引所発足に伴いジャスダック市場へ上場
- 2006年 ISO14001認証取得
- 2009年 多段真空ラミネータ装置を開発、製造・販売開始
- 2011年 「北川精機貿易(上海)有限公司」設立
- 2012年 不採算事業(PV、EDLC)から撤退
- 2016年 熱可塑性樹脂シート成形用真空プレスを開発、製造・販売開始
- 2019年 キタガワエンジニアリング株式会社(建材機械)全株式を同社へ譲渡

【単位：百万円】



当社の強み

開発、設計、製造、販売、メンテナンスの全てを
自社で行う事によりユーザー個別の多様なニーズに対応

研究開発

設計

製造

販売

保守整備

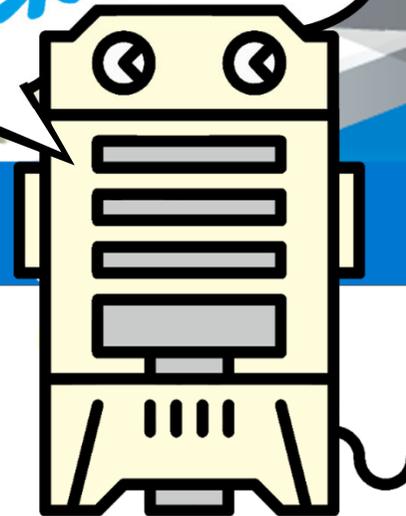


暮らしの中の北川精機



こんな製品も北川精機の装置で作られています

日々の生活に欠かせない様々な部品や資材。
これらの生産に当社の製品が使われています。
当社の製品は、直接皆様の目に触れる機会は少ないですが、
これからも縁の下での力持ちとして社会を支えていきます。



当社取引先業界と主な製品

電子回路業界

- 銅張積層板成形用真空プレス
- プリント配線板成形用真空プレス
- I Cカード成形用プレス

自動車業界

- パワーモジュール成形用プレス
- 曲面太陽電池モジュール製造用ラミネータ
- 自動車用部品成形ライン
- セラミック成形用プレス

宇宙航空産業

- ハニカム材成形用プレス
- 自走式航空機整備用リフト

素材関連業界

- 熱可塑性樹脂シート成形用真空プレス

建材関連業界

- ボード成形プレスライン
- 住宅用ドア成形用プレス
- 樹脂成形用型締機

その他の業界

- 鋼材鋼板用ストッカー
- 厚板切断加工ライン用パレットチェンジャー

コンプライアンスに対する取り組み

コンプライアンス体制

コンプライアンス委員会を設置し、委員会を中心にコンプライアンスの徹底、強化を図っています

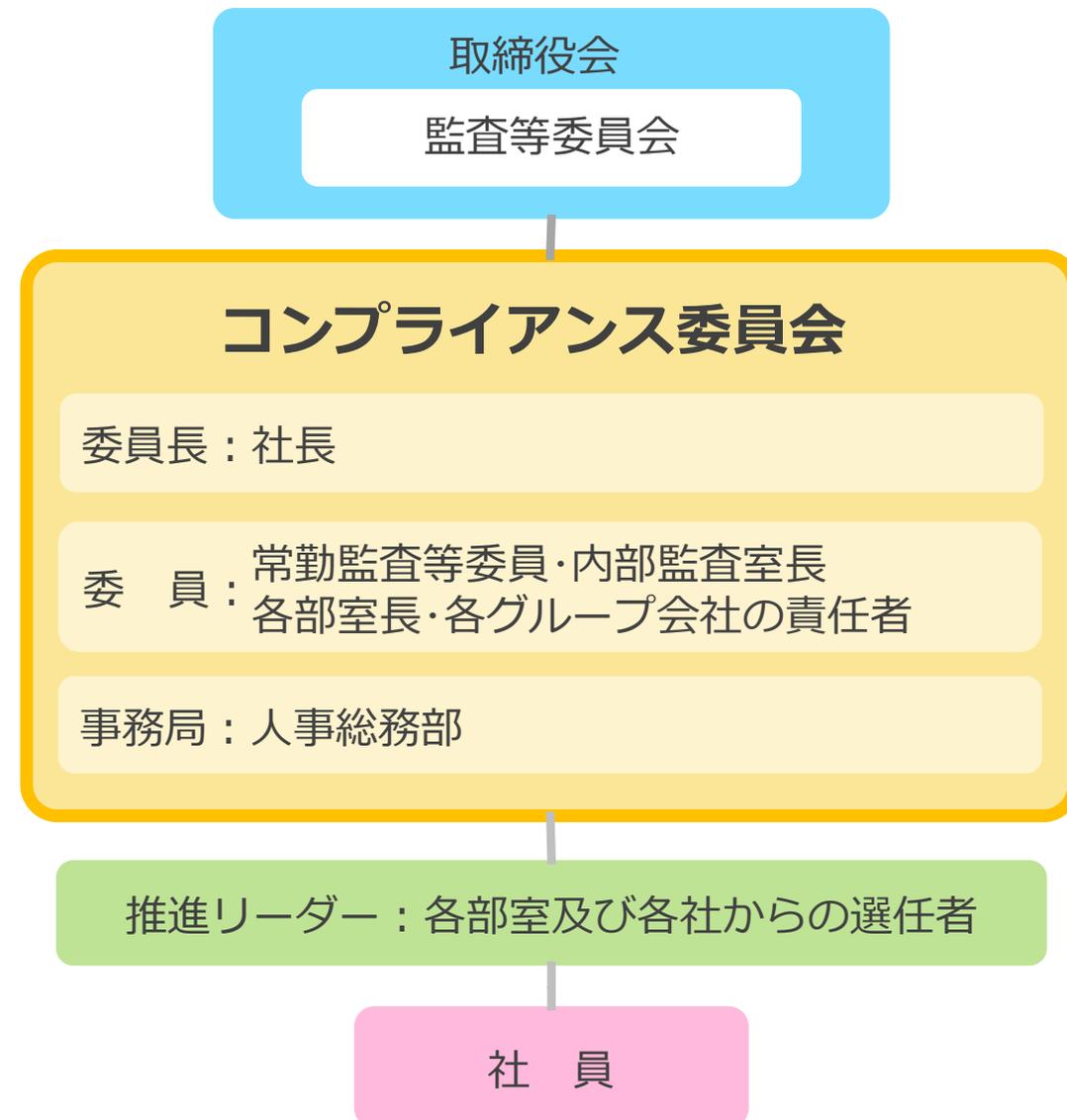
コンプライアンス委員会の役割

1. コンプライアンス教育計画の策定
2. 事業活動に関わる潜在リスクの把握と予防策の立案
3. 顕在化したコンプライアンス違反への対処方法の策定
4. 再発防止策の立案
5. 取締役会への提言と承認された方針や対策の推進

コンプライアンス教育

1. コンプライアンス規程
2. コンプライアンスガイドライン
3. e-ラーニング
4. 推進リーダーを講師とし社内研修実施

コンプライアンス体制図



株式状況

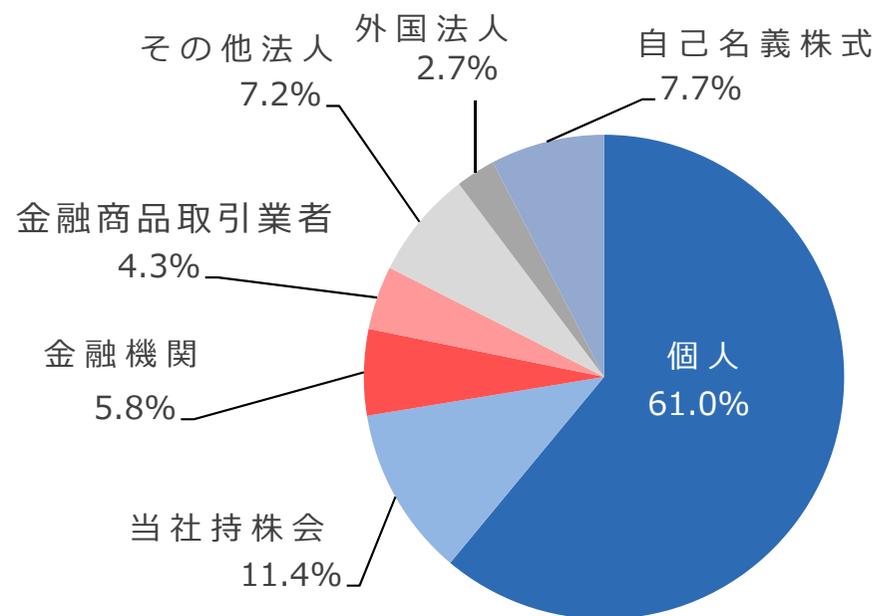
【大株主情報】

(2021年12月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
北川精機取引先持株会	720,600	10.20%
内田 雅敏	579,000	8.20%
北川 一子	486,900	6.89%
株式会社広島銀行	347,000	4.91%
河原 栄	261,100	3.70%
内田 由美	230,500	3.26%
MSIP CLIENT SECURITIES	149,100	2.11%
株式会社マンセイ	142,000	2.11%
木塚 修一	125,400	1.78%
大栄鋼業株式会社	111,000	1.57%
計	3,152,600	44.63%

発行可能株式数	20,000,000株
発行済株式数	7,649,600株
株主数	3,629名

【所有者別分布状況】



持株比率は自己株式(586,289株)を控除して計算しております。

連結経営指標等の通期推移

【単位：百万円】		2012/6	2013/6	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6
売上高	連結	3,225	3,520	4,027	4,280	3,575	4,855	4,977	5,408	4,266	4,819
	産業機械事業	1,869	2,335	2,812	2,986	2,748	3,712	3,585	3,889	4,057	4,654
	※ 建材機械事業	882	1,005	1,078	1,101	628	1,000	1,255	1,350	－	－
営業利益	連結	△881	137	168	268	55	422	481	576	480	541
	産業機械事業	△192	△10	104	163	79	362	257	321	455	528
	※ 建材機械事業	36	137	54	89	△39	52	215	238	－	－
経常利益		△926	166	73	254	△83	378	478	554	480	546
親会社株主に帰属する 当期純利益		△2,287	157	89	180	△135	311	270	160	326	492
E P S		△328.79円	22.64円	12.92円	25.95円	△19.41円	44.43円	35.31円	20.95円	42.65円	68.22円
配当金		－	－	－	－	－	－	－	－	－	5円
配当性向		－	－	－	－	－	－	－	－	－	7.3%
R O A		△26.9%	2.4%	1.3%	2.7%	△2.6%	4.9%	3.9%	2.3%	4.4%	8.4%
R O E		△141.1%	28.3%	12.8%	21.4%	△15.8%	30.7%	19.4%	10.0%	17.6%	23.14%

連結貸借対照表の通期推移

【単位：百万円】	2012/6	2013/6	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6
流動資産	2,732	3,315	3,682	3,335	3,520	3,897	4,421	4,770	5,558	4,075
固定資産	3,725	3,399	3,316	3,247	2,399	2,469	2,459	2,309	1,784	1,778
資産合計	6,457	6,715	6,999	6,582	5,919	6,366	6,881	7,079	7,343	5,853
流動負債	4,215	4,267	4,729	4,443	4,088	4,158	3,596	3,669	4,346	2,725
固定負債	1,563	1,525	1,254	904	793	668	1,400	1,291	970	900
負債合計	5,778	5,793	5,983	5,348	4,882	4,826	4,997	4,960	5,316	3,625
純資産合計	679	922	1,015	1,234	1,037	1,540	1,884	2,118	2,026	2,227
負債及び純資産合計	6,457	6,715	6,999	6,582	5,919	6,366	6,881	7,079	7,343	5,853
自己資本比率	7.1%	9.8%	10.7%	14.3%	13.0%	19.8%	22.2%	23.8%	27.6%	38.1%

連結キャッシュ・フローの通期推移

【単位：百万円】	2012/6	2013/6	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6
営業 C F	697	614	△215	104	323	116	1,590	△348	728	221
投資 C F	153	327	50	△43	717	△200	△101	△121	△315	△21
財務 C F	△642	△283	△212	△26	△735	△209	△322	△111	△474	△431
現金及び現金同等物 期末残高	778	1,540	1,163	1,211	1,467	1,194	2,359	1,768	1,709	1,493
有形固定資産の 取得による支出	224	27	62	46	55	188	100	108	38	24

IR情報に関するお問合せ先

【IR窓口】

北川精機株式会社 人事総務部

TEL : 0847-40-1200

FAX : 0847-40-1202

URL : <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

E-mail : ir-info@kitagawaseiki.co.jp

－ 注意事項 －

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。

－ 数字の処理について －

記載された金額は当社が決算短信にて発表した数値で、別途計算が必要な数値は千円単位未満を切り捨て処理しております。尚、比率は千円単位で計算した結果の小数点以下を四捨五入して処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

いかなる目的であれ、当資料を無断で複製複製、または転送等を行わないようお願い致します。